

令和元年11月27日

西部農林振興センター 益田事務所 農業普及部

標題 始まって1年、益田養護学校の生徒が2年目の西条柿収穫作業を実施！

(ダイジェスト)

昨年に続き、今年（11月1日・8日）も、益田養護学校の生徒が、益田市の認定農業者のは場で、西条柿の収穫・調整作業を行いました。

担い手不足や高齢化が問題となっている農業分野において、新たな働き手の確保につながることを期待されます。

特別支援学校では高等部の学習において、教科学習以外に、「作業学習」という時間を教育課程に位置づけています。益田養護学校においても、農業分野の内容を扱う園芸班の作業学習の1つとして、昨年度の西条柿収穫作業から農家での現場学習を本格的に開始し、当普及部では受け入れ農家の検討・打診、作業内容等の事前打ち合わせなどを行い、農家と養護学校との橋渡し役となり、支援しています。

当日は、農家の方の説明を熱心に聞き、意欲的に作業に取り組む生徒の姿が見られました。農家での作業は、生徒の達成感や自信につながるだけでなく、地域の人々と直接コミュニケーションをとることで、卒業後に必要な対人関係の基礎や社会性を身につけることにつながります。また、人手を求める農家にとっても、依頼できる作業を知ったり、作業する様子を直接見たりする機会になり、障がいのある方を働き手として考えるきっかけになることが期待されます。

当普及部では、今後も継続して取り組みが実施されるよう、引き続き支援していきます。

なお、担当の先生は今年度の農福連携指導者養成コースに参加して、指導技術の取得に努められ、今後への手応えを感じておられました。

これまでに実施した（予定含む）農家での作業学習

	品目	実施時期	作業内容
平成30年度	西条柿	10月中旬～11月上旬 (計4回)	収穫
	畜産	1月中旬～2月下旬 (計8回)	餌やり、牛舎の掃除
令和元年度	いちご	5月下旬～6月中旬 (計4回)	収穫後の株の片付け
	ミニトマト	9月下旬～10月中旬 (計6回)	収穫、脇芽かき、ハウス内の除草、 (ホウレンソウの収穫)
	西条柿	11月上旬 (計2回)	収穫、枝付の収穫・調整
	ぶどう	12月中旬 (計2回)	落葉処理、枝片付け (予定)
	畜産	1月～2月 (計9回)	餌やり、牛舎の掃除 (予定)



【農家から指導を受けている様子】



【収穫作業の様子】